

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月2日 (2017.2.2)

【公開番号】特開2015-148(P2015-148A)

【公開日】平成27年1月5日 (2015.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-001

【出願番号】特願2013-125345(P2013-125345)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月16日 (2016.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示および前記識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行って遊技を実行可能な遊技機であって、

前記普通識別情報の可変表示に基づいて、遊技者にとって有利な第 1 状態と不利な第 2 状態とに変化可能な可変始動入賞装置と、

画像が表示される表示手段と、

前記遊技機の消費電力を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段と、

前記省電力制御に伴って、前記表示手段を特定の表示状態とする特定表示状態制御手段と、

を備え、

前記表示手段は、前記普通識別情報の可変表示の状態を報知する表示が行われる変動状態報知領域を含み、

前記特定表示状態制御手段は、少なくとも前記変動状態報知領域を前記特定の表示状態とせず、

前記省電力制御手段は、前記識別情報の可変表示を指定するコマンドを受信したときに、前記省電力制御を終了することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

識別情報の可変表示および前記識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行って遊技を実行可能な遊技機であって、

前記普通識別情報の可変表示に基づいて、遊技者にとって有利な第 1 状態と不利な第 2 状態とに変化可能な可変始動入賞装置と、

前記普通識別情報の可変表示の状態を報知するために発光する普通識別情報発光手段を含む複数の発光手段と、

前記発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段と、

を備え、

前記省電力制御手段は、

前記発光手段に対する前記省電力制御を行う際に、少なくとも前記普通識別情報発光手

段に対して前記省電力制御を行わず、

前記識別情報の可変表示を指定するコマンドを受信したときに、前記省電力制御を終了することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、パチンコ遊技機等の遊技機に係り、詳しくは、識別情報の可変表示および識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行って遊技を実行可能な遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明は、上記実状に鑑みてなされたものであり、消費電力を抑えつつ、遊技者が普通識別情報の可変表示の状態を認識することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 上記目的を達成するため、本願の第1の観点に係る遊技機は、
識別情報（例えば特別図柄など）の可変表示および前記識別情報とは異なる普通識別情報（例えば普通図柄）の可変表示を行って遊技を実行可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、前記普通識別情報の可変表示に基づいて、遊技者にとって有利な第1状態（例えば開放状態など）と不利な第2状態（例えば閉鎖状態など）とに変化可能な可変始動入賞装置（例えば普通可変入賞球装置6Bなど）と、画像が表示される表示手段（例えば画像表示装置5など）と、前記遊技機の消費電力を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段（例えば図15のステップS160の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、前記省電力制御に伴って、前記表示手段を特定の表示状態とする特定表示状態制御手段（例えば図15のステップS305の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、を備え、前記表示手段は、前記普通識別情報の可変表示の状態を報知する表示が行われる変動状態報知領域（例えば画像表示装置5における普通図柄表示領域5a、5bなど）を含み、前記特定表示状態制御手段は、少なくとも前記変動状態報知領域を前記特定の表示状態とせず（例えば普通図柄表示領域5a、5bにおける画像の表示を継続し、他の領域を画像が非表示の状態とすることなど）、前記省電力制御手段は、前記識別情報の可変表示を指定するコマンドを受信したときに、前記省電力制御を終了することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

このような構成によれば、表示手段の消費電力を低下させる省電力制御が行われる場合であっても、少なくとも変動状態報知領域は特定の表示状態とはならずに、画像表示を継続する。このため、省電力制御により遊技機の消費電力を抑えつつ、遊技者は普通識別情報の可変表示の状態を認識することができる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

(２) 上記目的を達成するため、本願の第２の観点に係る遊技機は、識別情報（例えば特別図柄など）の可変表示および前記識別情報とは異なる普通識別情報（例えば普通図柄）の可変表示を行って遊技を実行可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機１など）であって、前記普通識別情報の可変表示に基づいて、遊技者にとって有利な第１状態（例えば開放状態など）と不利な第２状態（例えば閉鎖状態など）とに変化可能な可変始動入賞装置（例えば普通可変入賞球装置６Ｂなど）と、前記普通識別情報の可変表示の状態を報知するために発光する普通識別情報発光手段を含む複数の発光手段（例えば遊技効果ランプ９及び普通図柄ＬＥＤ４２など）と、前記発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させる省電力制御を行う省電力制御手段（例えば図１５のステップＳ１６０の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）と、を備え、前記省電力制御手段は、前記発光手段に対する前記省電力制御を行う際に、少なくとも前記普通識別情報発光手段に対して前記省電力制御を行わず（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０による図２０のステップＳ４０５の処理など）、前記識別情報の可変表示を指定するコマンドを受信したときに、前記省電力制御を終了することを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

このような構成によれば、複数の発光手段を消灯状態にする又は明度を低下させる省電力制御が行われる場合であっても、少なくとも複数の発光手段の一部である普通識別情報発光手段は省電力制御の対象から除外され、発光を継続する。このため、省電力制御により遊技機の消費電力を抑えつつ、遊技者は普通識別情報の可変表示の状態を認識することができる。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

(６) 上記(１)～(５)の何れかの遊技機において、
前記省電力制御手段は、前記識別情報の変動状態を指示するコマンド（例えば変動パターンコマンド）を受信した場合に前記省電力制御を終了する（例えば演出制御用ＣＰＵ１

20による図16のステップS307でYesの場合のステップS310の処理など)ようにしてもよい。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

このような構成によれば、識別情報の変動状態を指示するコマンドが受信された場合には、遊技者が存在すると見なして省電力制御が終了されるようにすることで、適切な省電力制御が可能となる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

(7)上記(4)の遊技機において、

前記省電力制御手段は、前記発射検出手段により前記遊技媒体の発射の検出が行われた場合に、前記省電力制御を終了する(例えば演出制御用CPU120による図16のステップS308でYesの場合のステップS310の処理など)ようにしてもよい。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

このような構成によれば、遊技媒体の発射の検出が行われた場合には、遊技者が存在すると見なして省電力制御が終了されるようにすることで、適切な省電力制御が可能となる。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

(8)上記(1)~(7)の何れかの遊技機において、

前記省電力制御手段は、遊技者によって操作可能な操作手段に対する操作が行われた場合に、前記省電力制御を終了する(例えば演出制御用CPU120による図16のステップS309でYesの場合のステップS310の処理など)ようにしてもよい。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

このような構成によれば、操作手段に対する操作が行われた場合には、遊技者が存在すると見なして省電力制御が終了されるようにすることで、適切な省電力制御が可能となる。